

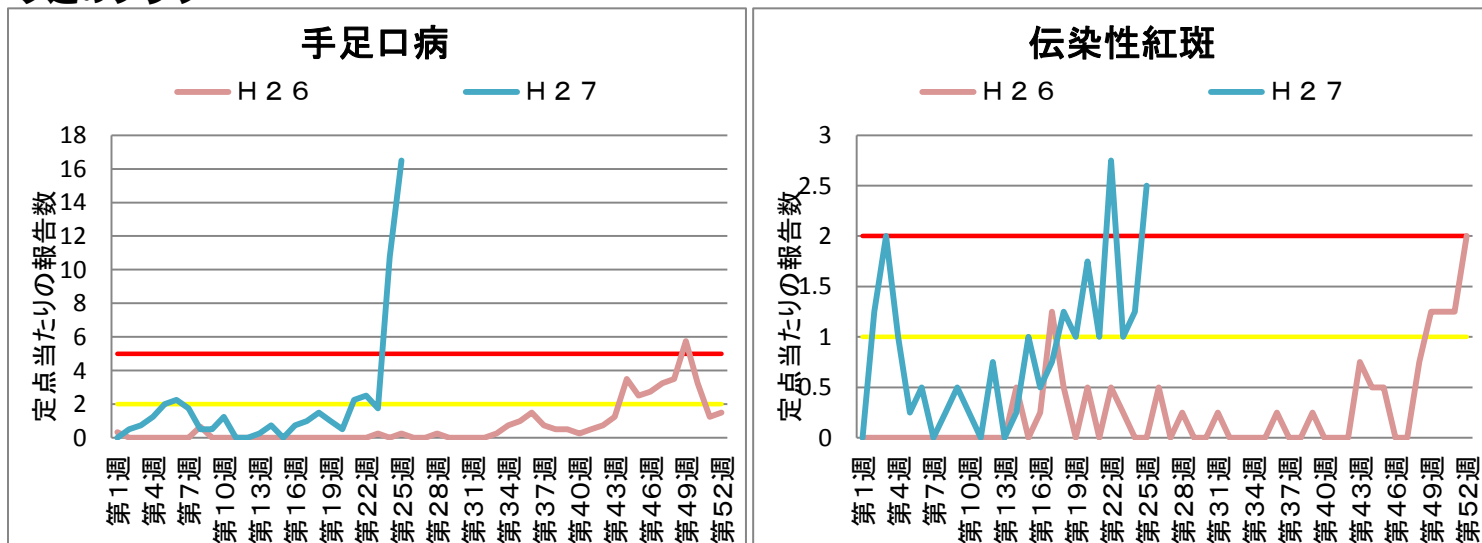
乙訓保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (小児科定点、インフルエンザ定点)

第 25 週 平成27年6月15日 ~ 平成27年6月21日

今週のコメント

①手足口病の報告がさらに増加し流行警報が継続しています(定点あたり16.5件)。乳幼児がかかりやすい急性ウイルス感染症で、ほとんどは数日で回復しますが、まれに髄膜炎などを起こすことがあります。口腔内病変で摂食しにくくなるがありますが、水分不足にならないようにすることが大切です。例年7~8月をピークに流行が見られますので、今後も注意が必要です。②伝染性紅斑の報告も再増加し、流行警報が継続しています(定点あたり2.5件)。小児に多い急性ウイルス感染症ですが、成人がかかることもあります。妊娠中の方が感染すると胎児水腫や流産を起こす場合があるので、周囲の方は咳エチケットを心がけましょう。いずれも、手洗いやうがいによる予防が重要です。

今週のグラフ



* 赤線 流行警報基準値です 黄線 警報継続基準値です

今週の報告状況

疾病名	定点当たりの報告数	疾病名	定点当たりの報告数
インフルエンザ	0.43	手足口病	16.5
RSウイルス感染症	-	伝染性紅斑	2.5
咽頭結膜熱	1.5	突発性発しん	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.5	百日咳	0.25
感染性胃腸炎	5.25	ヘルパンギーナ	1.25
水痘	0.25	流行性耳下腺炎	0.25

定点当たりの報告数 = 一週間の報告件数総数 / 定点数

* 乙訓管内 インフルエンザ定点数: 7箇所、小児科定点数(インフルエンザ以外の疾病): 4箇所

参考資料等

報告週対応表

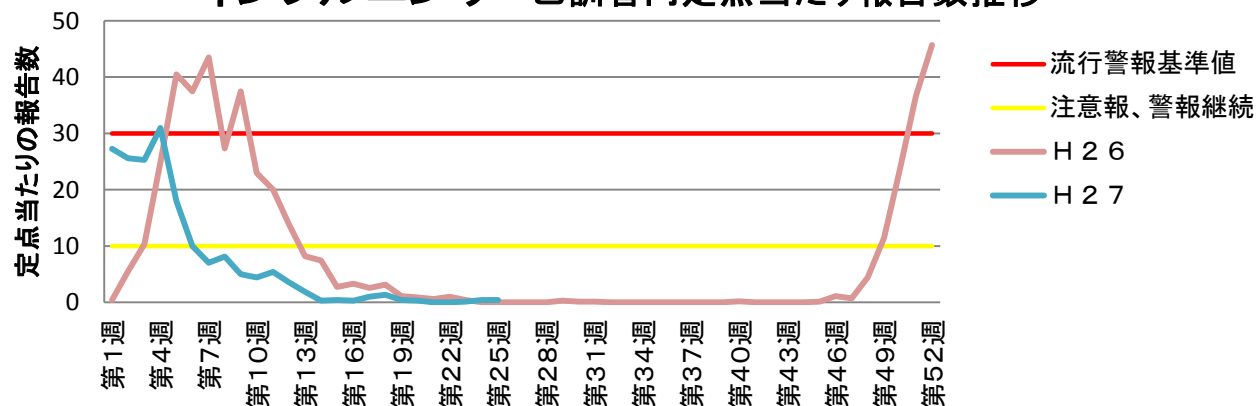
警報・注意報基準値の説明

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

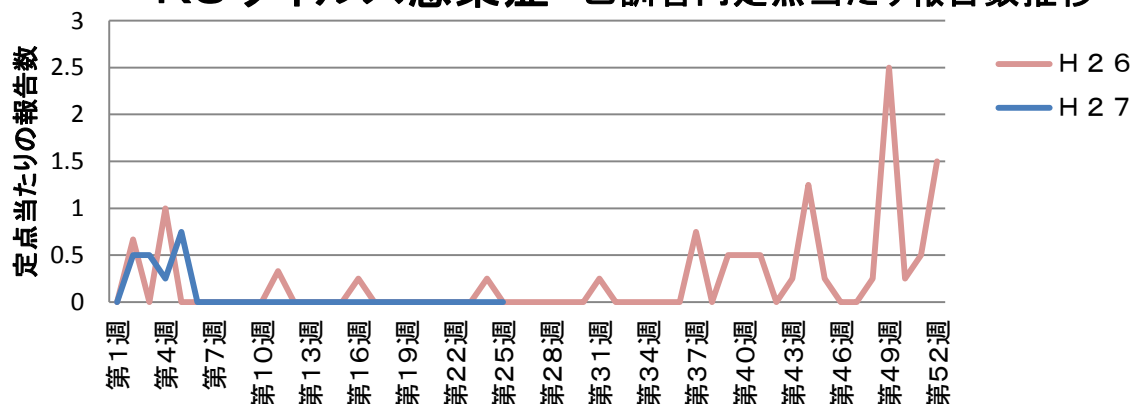
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/inf-keiho/guide05.html>

定点報告による各疾病の推移

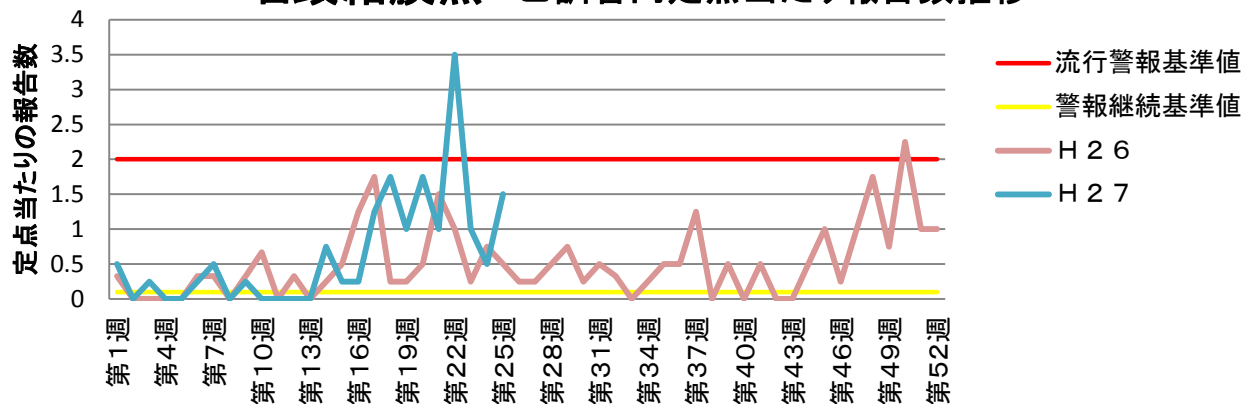
インフルエンザ 乙訓管内定点当たり報告数推移



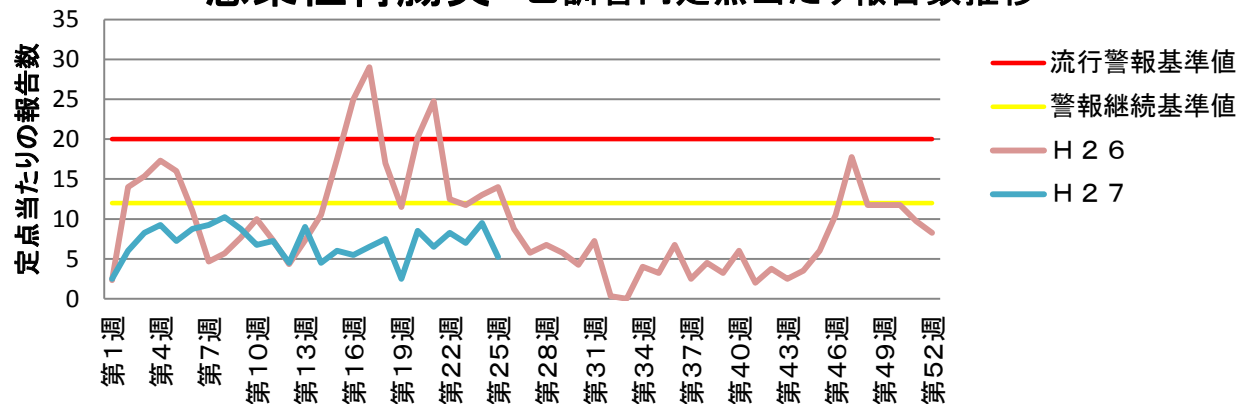
RSウイルス感染症 乙訓管内定点当たり報告数推移



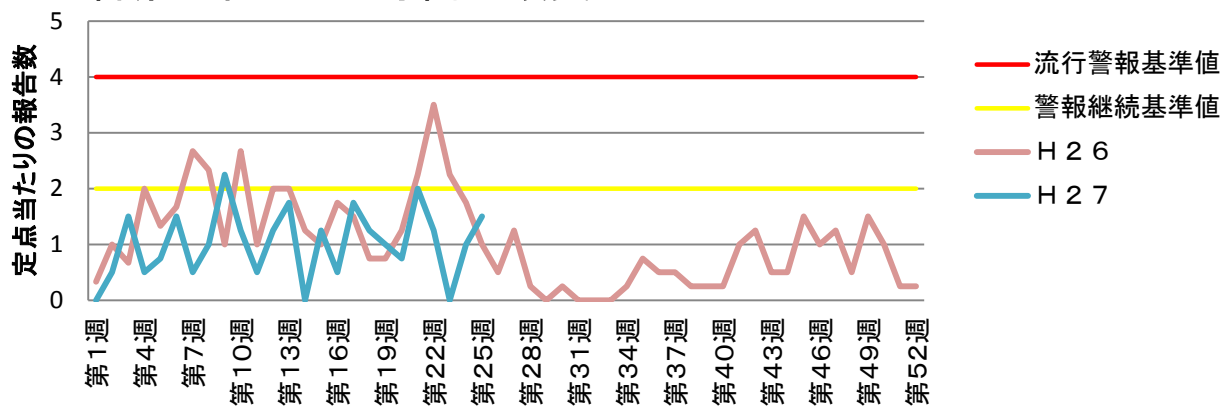
咽頭結膜熱 乙訓管内定点当たり報告数推移



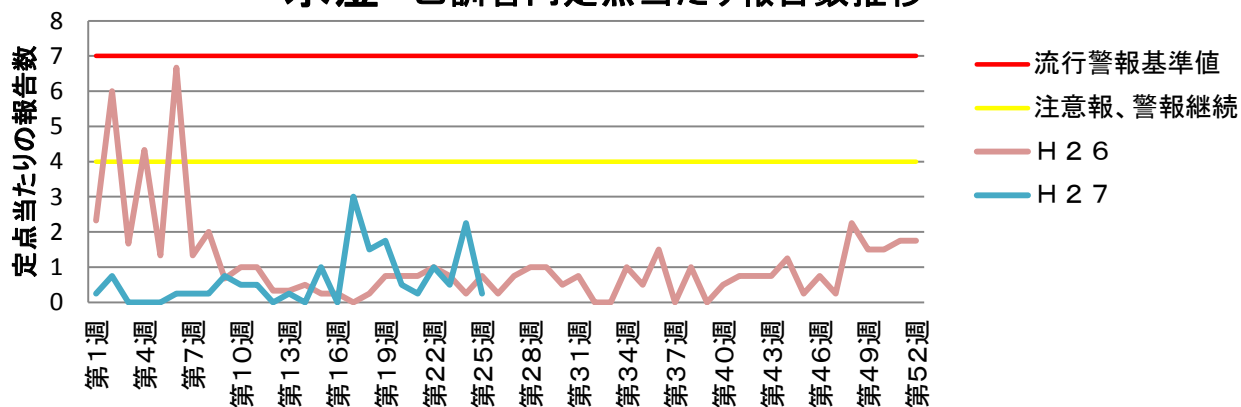
感染性胃腸炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



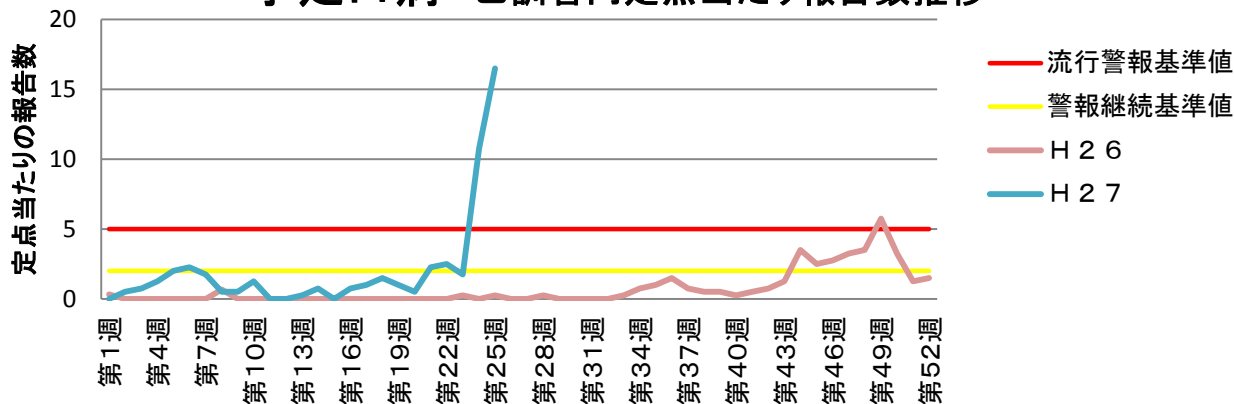
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 乙訓管内定点当たり報告数推移



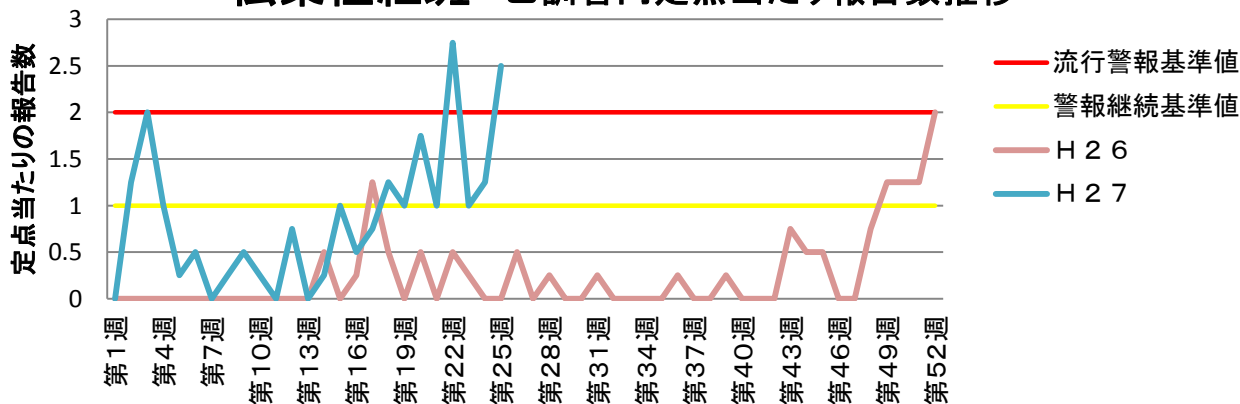
水痘 乙訓管内定点当たり報告数推移



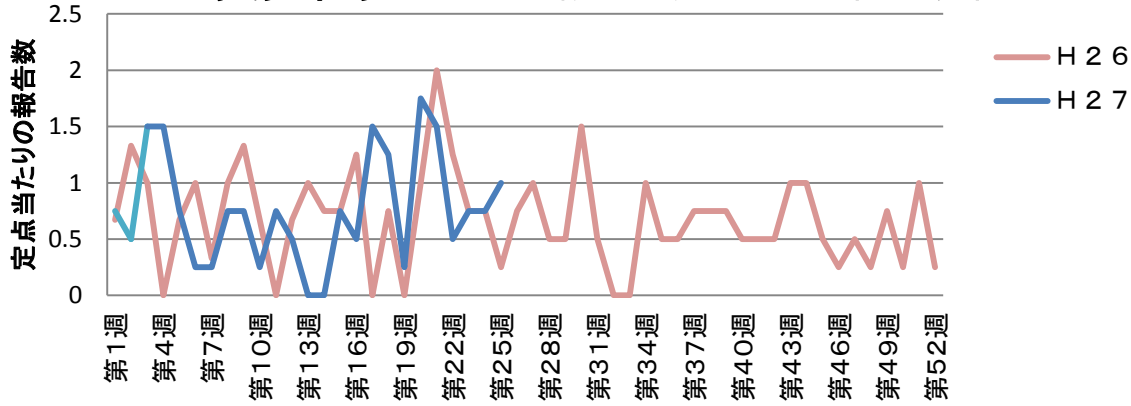
手足口病 乙訓管内定点当たり報告数推移



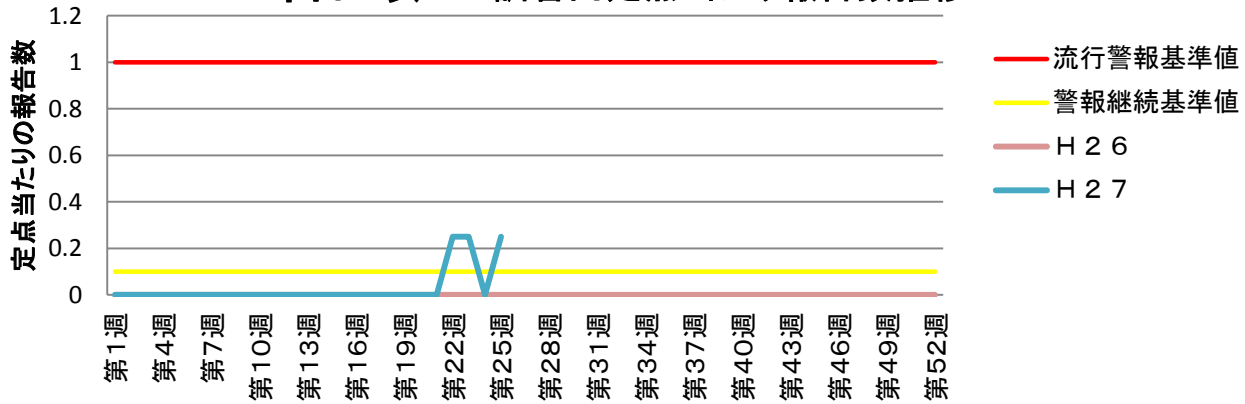
伝染性紅斑 乙訓管内定点当たり報告数推移



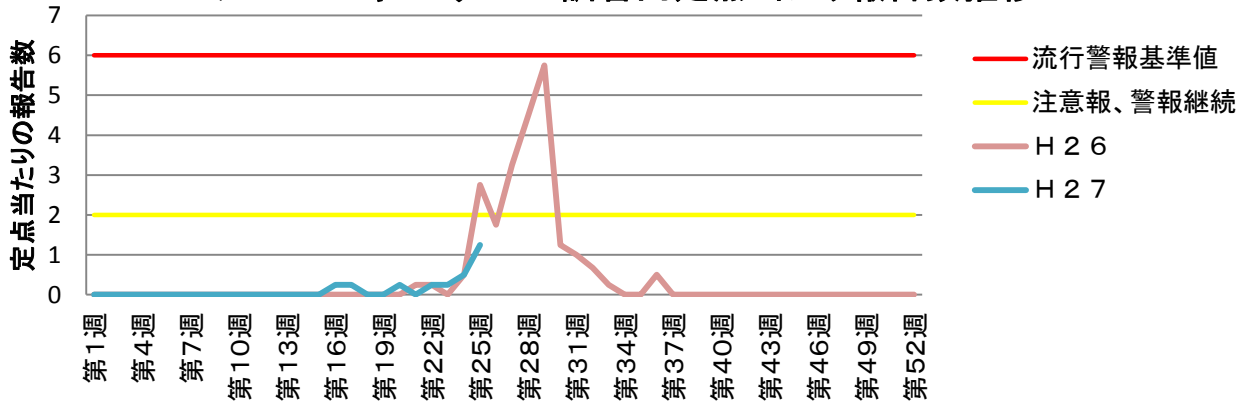
突発性発しん 乙訓管内定点当たり報告数推移



百日咳 乙訓管内定点当たり報告数推移



ヘルパンギーナ 乙訓管内定点当たり報告数推移



流行性耳下腺炎 乙訓管内定点当たり報告数推移

